

B.2 モニタリング実績

(1) 活動量（燃料消費量、生成熱量、生産量等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (年月日～年月日)	
F _{PJ, fuel}	プロジェクト実施後のボイラーにおける燃料使用量	千Nm ³ /年	A	燃料供給会社からの請求書で消費量(m ³)を把握し、ガスの供給条件を踏まえて標準状態に換算する。	月	2014年度：8,274.23 2015年度：8,711.88 2016年度：8,778.94 2017年度： 8,297.43 2018年度：8,213.16 2019年度：7,670.02 2020年度： 6,762.65	2014年4月1日～ 2021年3月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類A・B・Cのいずれか）とすること。

(2) 係数（単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (又は計測時期)	
HV _{PJ,fuel}	プロジェクト実施後のボイラーで使用する燃料の単位発熱量	GJ/千Nm ³	II	供給会社提供値（毎月）	(供給会社変更時)	2014年度：46.02 2015年度：46.02 2016年度：46.02 2017年度：46.01 2018年度：46.01 2019年度：46.01 2020年度：46.01	2014年4月1日～ 2021年3月31日	山口合同ガス(株) 提供
CEF _{PJ,fuel}	プロジェクト実施後のボイラーで使用する燃料の単位発熱量当たりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	III	デフォルト値を使用する。	(検証申請時最新値)	2014年度～ 2020年度：0.0513	2014年4月1日～ 2021年3月31日	
ε _{PJ}	プロジェクト実施後のボイラーのエネルギー消費効率	%	II	カタログ値を使用する。	プロジェクト開始時	89.4	2014年4月1日～ 2021年3月31日	高位発熱量基準
ε _{BL}	ベースラインのボイラーのエネルギー消費効率	%	II	カタログ値を使用する。	プロジェクト開始時	85.1	2014年4月1日～ 2021年3月31日	高位発熱量基準
CEF _{BL,fuel}	ベースラインのボイラーで使用する燃料の単位発熱量当たりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	III	デフォルト値を使用する。	年	2014年度～ 2020年度：0.0708	2014年4月1日～ 2021年3月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか）とすること。